

富士市立東小学校における学校教育の未来を考える会（会議要旨）

1 開催日時 令和3年4月22日（木）

2 開催場所 富士市立東小学校体育館

3 事務局より説明

- ・「東小学校の学校教育の未来を考える会」の開催要領の確認
- ・「富士市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」の概要説明
- ・富士市立東小学校の今後の児童数推定について説明

4 会議参加者からの意見

- ・人口、子どもの人数が減ってくるという話は、もう前から分かっていた。市街化調整区域になっているから、人口が増えない環境になっている。これから、どんどん子どもの数が少なくなっていくという説明をされても、そもそも富士市が端からそのような政策を取って来たからだと思う。
- ・新しく人が入って来られるような政策を取ってくれないことには、この地域の人口は増えることはない。
- ・学校での行事があるときには、保護者、地域の方も必ず協力してくれていて、最高の環境にあると思う。お金を出しても買えるものではない。
- ・地域の方、学校の子供たち互いによく知っており、この学校の良さを残していきたい。学校の適正規模とは何か？同じ規模の学校になった場合、その良さはあるだろう。しかし、一律に決めてかかるようなものではない。地域の状況に応じて、適正規模は変わってくるし、小さいからこそその良さがあるし、その良さを生かしたい。
- ・子どもたちは、学校の児童全員、事務職員まで含めて全員名前を知っている。この地域の方は、3世代家族が多く、家にも祖父母がいて安心感がある。何とかしてこの学校は、このまま残してほしい。
- ・小規模校には、メリットもあるがデメリットもある。自分の考えは、東小学校でも、須津小学校でもよいと思う。しかし、安全面はどうか。「東小学校を継続する」「須津小学校に行く」その両方のメリットとデメリットを挙げ、そのうえで検討すべきだろう。どちらがよいか、はっきり見える必要がある。
- ・この地域では、この「考える会」の設置を非常に不安視している。学校がなくなってしまうのではないかと。この考える会できちんとした方向性が示せればよいと思う。
- ・今の東小学校、こんなに素晴らしい環境はないと思う。児童全員が兄弟のような親密さがある。授業でも、みんながしっかり意見を言うことができる。東小学校は何としてでも残していかなければならない。
- ・地区の人口は、これ以上増えることはない。人口が増えないのであれば、もちろん子どもの人数も増えることはないと思う。しかし、なくなってほしくない。

- ・学校の適正規模というのは、相対的な考え方でよいと思う。この地区であれば1クラスが20人ぐらいの規模が一番いいのではないかと自分は思っている。学年の人数がもう少し多いといいと思う。昨年度の6年部の先生は、よく「東の端から地域を盛り上げていこう。」と言っていた。こちらから盛り上がっていけばよい。東小学校は絶対になくしたくない。
- ・子どもが須津小学校まで歩いていくのは無理だ。
- ・この地域は、学校は地域とつながっている。東小学校がなくなってしまうと、この地区がなくなってしまうのではないかという不安がある。学校がなくなれば、間違いなく人口が減っていく。地域の年輩者も亡くなっていくので、将来は鳥の住む地域になってしまうと思う。
- ・学校の行事があるときは、地域総出で協力してくれる。小規模校の特徴ではないか。この地域は市街化調整区域となっているが、それはこの地域が希望したからだ。市街化調整区域は、5年ごとに見直すなどという話もあったが、実際には、見直しがなかった。市街化調整区域になったことで、新規に建物は建てられなくなったが、都市計画税は課税されず、土地の評価額も低くなり、固定資産税も安くなった。現在都市計画課とこの地域の市街化の地区計画について協議している。地区計画ができれば、区画整理に近いことはやれる。
- ・小規模校は、費用がかかり、効率としてはどうかと思う面もある。
- ・少人数でも、地域の努力で解消することはできる。また、学校や先生方の実践で解消できる課題もあるのではないか。適正規模・適正配置の基本方針について、その適正規模に科学的な根拠はあるのか。とは言うものの、全国的に子供の人数は今後増えることはないと思うのが現実的で、児童数の多い学校に行くこともよいことがあると思う。市で何が何でも統合するというのであれば仕方がないと思うが、地域の意見を汲み取り、できる限り支援をしてもらいたい。学校を統合するのであれば、住民投票をやってみるのも一つの方策だと思う。
- ・学校が統合、廃校となれば、地域にとって完全なマイナスイメージとなる。地域のためになることはない。小規模校は、小規模校ならではのメリットもある。魅力ある地域とするためには、東小学校は絶対不可欠な存在である。地域を衰退させない努力が必要である。教育委員会も浮島地区の人口を増やすため、他課と連携して最大限の協力をしてほしい。
- ・ボランティアで各地に行くが、小さな学校の方が父兄はしっかりしている印象がある。東小学校の児童も留学制度を利用してもよいと思う。どこの地域でも、小学校がなくなると人口が減っている。1人でも児童がいるのであれば、学校は残すべきだ。
- ・小規模校の方がいじめ問題は少ない。
- ・役所の御都合で、学校の統廃合を決めてはいけない。この地域を守るため、役所も力を貸してほしい。

○今後も意見聴取を継続していくことを確認して終了。